

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

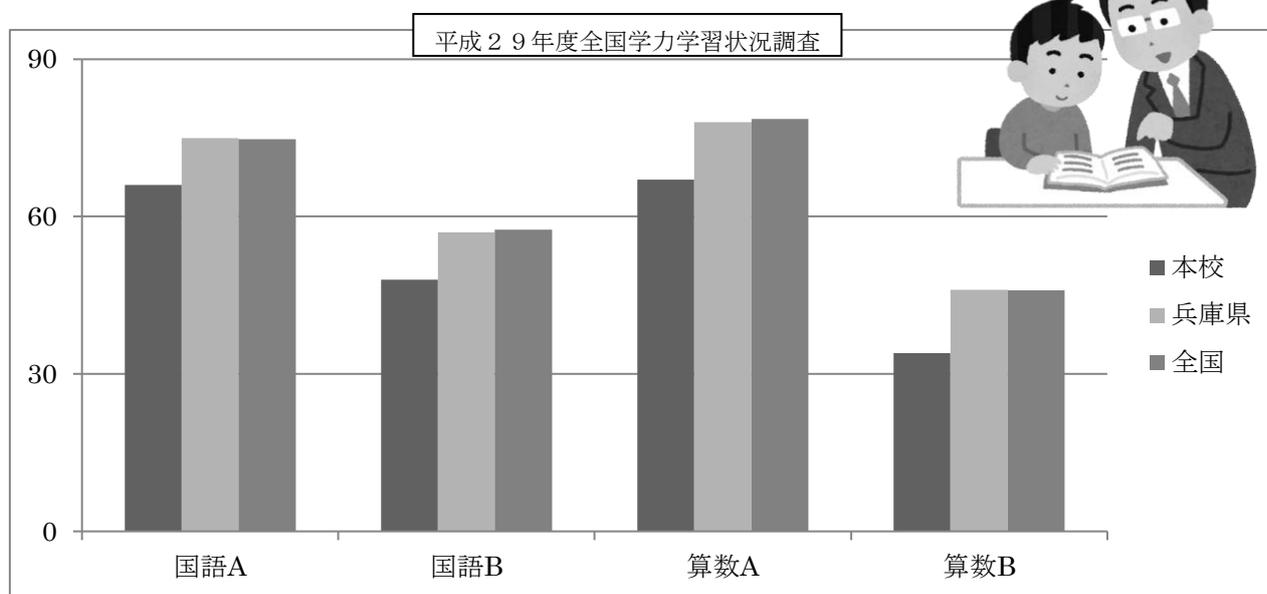
尼崎市立立花北小学校  
学力向上推進委員会

4月に実施しました、文部科学省による学力・学習状況調査の結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上についての対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

なお、この調査は小学校6年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数に限られています。さらに、出題は限られた分野の問題です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧下さい。

### ■調査結果（平均正答率）及び考察

#### 結果



※ 3本ずつあるグラフは、いずれも左から「本校」「兵庫県」「全国」を表しています。

#### 問題 A

身につけておかなければあとの学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

#### 問題 B

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など。

## 国語について

### (1) 結果

国語 A、国語 B ともに県・全国を下回っている。無回答率が県・全国の平均を上回っており、特に記述式の問題で目立っている。

### (2) 課題

- ・話し合いの場面で、話し合いの内容のポイントをつかむことに苦手意識がある。
- ・漢字の読み取りに関しては県と同等であったが、漢字の書き取りに関しては苦手意識を持っており、特に画数の多い文字になると書けなくなっている。
- ・文中のキーワードを用いて引用して書いたり必要な内容を整理して書いたりすることや、物語中の具体的な叙述をもとに、理由を明確にして自分の考えをまとめることなど、文章を読んで内容の要旨をつかむ問題に苦手意識がある。

### (3) 今後の取り組み

- ・朝の読書や図書室活用の充実を図ることにより、本に親しむ習慣を身につけていきます。読書の内容についても、なるべく読み物にふれさせ、活字に慣れるようにし、早く読む、早く的確に内容をつかむといった「読むスキル」を身につけていきます。
- ・漢字の書き取りに苦手意識を持っている児童が多いことから、復習する機会を多く作っていきます。
- ・各学年で学習することわざ、四字熟語、慣用句など、「知っておくべき、身につけておくべき言語事項」にも力を入れ、身につけていきます。
- ・学習の中で、「書く」活動を取り入れ、文章から読み取ったことや自分の考えを書き、話し合いに活かせるようにしていきます。
- ・読み取ったことや考えを交流する中で、自分と友達との考えの共通点や違いなどに気づき、自分の考えを深められるようにしていきます。また、ペアトークやグループ学習などを通して、話し合いの楽しさを感じられるようにしていきたいと思います。
- ・授業や宿題などを通して、文章の中の大切な言葉（キーワード）を見つけたり、それを使って文章の内容や要旨を限られた文字数の中でまとめたりするような活動を取り入れるようにしていきます。



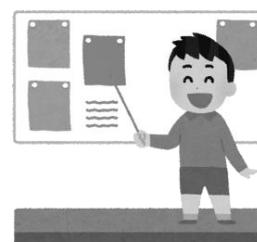
## 算数について

### (1) 結果

算数 A、算数 B ともに県・全国を下回っている。無回答率が県・全国の平均を上回っており、特に短答式や記述式の問題で目立っている。

### (2) 課題

- ・整数の計算問題については県と同等であったが、分数や小数の計算、足し算・引き算・掛け算・割り算の混じった四則混合問題になると正答率が大きく下がっている。
- ・公式や求め方は理解できていても、問題文で問われていることを捉えることに苦手意識を持っている。
- ・既習事項を活用して条件を変更した問題を解くことやその理由等を記述して説明することに苦手意識を持っている。



### (3) 今後の取り組み

- ・計算問題では小数や分数の問題、加減乗除の混合問題に多く取り組ませ、正しい順序で間違いなく計算できる力をつけさせていきます。
- ・文章問題などことあるごとに問題からわかることを数直線上に表したり、図や絵を自ら描いたりして問題を解いていくトレーニングを積んでいきます。
- ・図形の問題では、公式を覚え、1つの図形の面積や体積をもとめるだけでなく、様々な要素を含んだ少し複雑な問題にも取り組んでいきます。
- ・問題文を読み、情報を整理し、的確に問われていることを理解できるよう、他教科においても読解力を養い、グラフや表から情報を整理する力がつけられるようにしていきます。
- ・学習活動を通して見出した考え方を活用して、数値や形などの条件を変更した応用的な問題にも取り組んでいきます。
- ・授業中に自分の考えを数直線や図・絵を用いて、筋道を立てて説明する機会を多く設けます。
- ・めあてやふり返りを大切にしながら授業に取り組み、より主体的に学習していけるようにします。

生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査より

〈生活習慣について〉

早寝・早起き・朝ごはんの重要性  
学力＝「早寝・早起き・朝ごはん」

質問事項	本校(昨年度)	本校	兵庫県	全国
朝食を毎日食べている。	92	89	95	95
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	76	77	78	80
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	86	91	91	91
普段、1日2時間以上テレビを見る。	60	51	57	56
普段、1日1時間以上ゲームをする。(パソコン・携帯・スマホ型含む)	59	57	56	56
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている。	79	73	79	78
普段、1日30分以上読書をしている。	37	30	35	37

読書量が足りない

ゲームやスマホのやり過ぎ

〈学習習慣について〉

授業以外の学習時間が少ない  
→自主学習ノートの実施「家庭学習の手引」

質問事項	本校(昨年度)	本校	兵庫県	全国
学校の授業時間以外に、 普段1日2時間以上勉強している。	16	23	33	27
学校の授業時間以外に、普段1日1～2時間勉強している。	26	16	31	37
学校の授業時間以外に、普段1日1時間未満勉強している。	58	47	32	33
新聞を読んでいる。	18	19	23	21
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。	69	76	84	85
家で、自分で計画を立てて勉強している。	39	40	61	65
家で、学校の宿題をしている。	100	93	98	97
家で、学校の授業の予習をしている。	34	30	38	41
家で、学校の授業の復習をしている。	40	37	45	54

自主的な学習・予習・復習の重要性  
→自主学習ノートの実施「家庭学習の手引き」

〈教科について〉

スキルとしての読む力・内容をつかむ  
力が必要。→読書(活字)の重要性

質問事項		本校	兵庫県	全国
問題の解答時間は十分でしたか。(国語 A)		7 1	8 3	8 7
	(国語 B)	6 1	6 2	6 6
	(算数 A)	7 1	8 5	8 7
	(算数 B)	4 4	5 2	5 3
国語の勉強は好きですか?		4 6	6 0	6 1
国語の勉強は大切だと思いますか?		8 9	9 0	9 1
算数の勉強は好きですか?		5 6	6 3	6 6
算数の勉強は大切だと思いますか?		8 7	9 2	9 2
算数の問題が分からない時、あきらめずに色々な方法を考えますか?		6 6	8 0	8 1
友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか?		5 2	6 2	6 5
授業などで、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは、難しいですか?		5 6	5 4	5 4

何のために勉強するのか  
を理解することが、主体的・積極的な学習へと変わってくる

文章を書く問題に多くふれる  
→書く・発表する機会を増やす

最後まであきらめない(挑戦する)気持ちの大切さ  
→図や絵を描いて解くことの必要性

## 尼崎市の分析を踏まえて

尼崎市教育委員会による『学力調査と質問紙調査との関係についての分析及び今後の取り組み』によると、生活習慣や学習習慣と学力との間には、次のような関わりがあるとされています。

- ・「協働的な学習形態」、「家庭での学習状況」、「基本的生活習慣」を改善していくことが、学力向上につながります。
- ・学校の授業においては、「主体的・対話的な学習」を進めることは、学力向上において効果的であるとされています。しかし、授業の中で友達と意見を交流するような活動を形式的に入れておけば良いという訳ではないようです。「主体的・対話的な学習」を進める中で、どうすれば子ども達の「深い学び」につながるのかを追求し、授業を改善していくことが重要です。

- ・テレビやゲーム、スマホ等(ネットやメール)の過度な使用は、学力に悪い影響を与えるため、適度な時間の使用が望まれます。家庭でルールを決め、守らせることが大切です。
- ・家庭で「宿題をする」はほぼ定着してきており、学力差は「自分で計画を立てて勉強する」か否かが正答率に大きく影響してきている傾向があります。家庭での学習においては、学校と家庭が協力して、宿題だけでなく予習・復習など自分で計画を立てて勉強する「自学の力」をつけることが重要です。是非11月から始まった「自主学习ノート」を「家庭学習の手引き」を参考にしながら進めて頂きたいと思います。
- ・家庭における「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的な生活習慣の確立は、学力と相関関係があります。

今後も、「分かる」の積み重ねを重視した授業づくりや「グループで調べる活動」や「友達と話し合う活動」など学習活動に積極的に参加する授業を多くしたり、「放課後学習」や「Let'sstudy!」などの授業時間外の学習を充実させたりしながら、学習効果を高めたいと思います。また、「自主学习ノート」や「家庭学習の手引き」を活用し、予習・復習など自ら計画を立て、学習する習慣を身につけさせていきたいと思っています。



ご家庭におかれましても、一人で机に向かう習慣の更なる定着や学校の出来事についての会話促進・新聞・ニュース等、地域や社会の情報に触れる機会の確保、テレビやゲーム、スマホ等の視聴時間についてのルールづくりなどに、今後ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

